

東京大学大学院農学生命科学研究科
 応用生命化学専攻（栄養化学研究室） 特任研究員 公募

1	職名及び人数	特任研究員（特定有期） 1名
2	採用予定日	令和5年4月1日以降のできるだけ早い時期
3	任期	令和6年3月31日まで□ 予算の状況、業務の必要性及び勤務成績の評価に基づき令和8年3月31日までを限度として更新する場合があります
4	勤務地	東京都文京区弥生1-1-1 弥生キャンパス
5	所属	大学院農学生命科学研究科 応用生命化学専攻 栄養化学研究室
6	業務内容	1) 喜田 聡教授(応用生命化学専攻)が推進するムーンショット型研究開発プロジェクト「食の心理メカニズムを司る食嗜好性変容制御基盤の解明」に関する研究開発に従事する。 2) 研究テーマとしては、マウスを用いた食嗜好性変容課題を用いて食記憶エンGRAMを起点とした食物価値変容機構、また、食嗜好による情動産生機構を解明する神経科学的研究に従事する。テーマの詳細は相談して決定します。
7	就業時間	専門業務型裁量労働制（1日7時間45分働いたものとみなされます。）
8	休日・休暇	土・日、祝日法に基づく休日、年末年始（12月29日～1月3日） 年次有給休暇、特別休暇、忌引休暇 等
9	給与□	年俸制を適用し、業績・成果手当を含め、 月額 270,000 円以上（経験及び能力による）
10	諸手当	通勤手当（支給要件を満たした場合）
11	社会保険等	文部科学省共済組合、厚生年金保険、雇用保険（法令の定めるところにより加入）
12	応募資格□	1) 博士号取得者（または採用日までに取得見込の者） 2) 神経科学的研究（光遺伝学、回路解析、電気生理、脳内カルシウムイメージング、げっ歯類を用いた行動解析、あるいは、数理的解析など）への従事経験が望ましいが、実績・経験があれば他分野からの挑戦も可能。 3) 任期終了後に海外留学を希望する場合には紹介することが可能です（欧米より多くの著名研究者が当研究室を訪問します）。
13	提出書類	1) 履歴書（東京大学統一履歴書を以下のURLからダウンロードし作成すること。） https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/about/jobs/r01.html 2) 業績リスト（発表論文、学会発表など） 3) 主要論文別刷5編以内 4) これまでの研究概要、研究者としての自己分析（長所と短所など）と将来展望をA4で2-3枚程度（それ以上でも構いません）。 5) 所見を伺える方1名の氏名と連絡先（メールアドレスを含めること）
14	応募締切	令和5年3月31日（金）必着 書類選考の上、合格者に対し面接を実施します。 適任者が見つかれば次第締め切ります。
15	書類送付先及び問い合わせ先	〒113-8657 東京都文京区弥生1-1-1 東京大学大学院農学生命科学研究科 応用生命化学専攻 担当：喜田 聡 TEL:03-5841-5118 E-mail: akida[at]g.ecc.u-tokyo.ac.jp（[at]は@に置き換えてください）

		封筒に「特任研究員 応募書類在中」と朱書し、記録が残る方法で送付のこと。
16	特記事項	1) 試用期間あり（採用日から6ヶ月間）
17	募集者名称	国立大学法人東京大学
18	その他	<p>応募書類は返却いたしませんので、予めご了承ください。</p> <p>取得した個人情報は、本人事選考以外の目的には利用しません。</p> <p>東京大学は男女共同参画を推進しており、女性の積極的な応募を歓迎します。</p> <p>外為法等の定めにより、採用時点で、海外との兼業や、外国政府等からの多額の収入がある場合、研究上の技術の共有が制限され、本学教職員としての職務の達成が困難となる可能性があります。このような場合、兼業等については、本学における研究上の技術の共有に支障のない範囲に留める必要があります。</p>